

2018年度（平成30年度）

研究部門名 生物学研究部門

講座名 多様性生物学講座

教員名 土松 隆志

電子メール takashi 理 chiba-u.jp

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)
(1)	<u>Bamba, M.</u> , <u>Kawaguchi, Y.W.</u> , <u>Tsuchimatsu, T.</u>	Plant adaptation and speciation using population genomic approaches	<i>Development, Growth & Differentiation</i>	61	12-24	2019年	10.1111/dgd.12578
(2)	<u>土松隆志</u>	集団ゲノミクスが解き明かす植物進化のダイナミクス 適応をゲノムから探る	<i>化学と生物</i>	56	317-323	2018年	
(3)	田村隆明, <u>ほか17名</u>	分子生物学：ゲノミクスとプロテオミクス（翻訳）	東京化学同人				

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 2名
- ・大学院修士 1名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）

なし

(4) 国際会議出席と招待リスト

Annual Meeting of the Society for Molecular Biology and Evolution, Japan, 2018年7月9日, “Diversity and horizontal gene transfer of nodule bacteria associated with *Lotus japonicus* in natural environments”

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

なし

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

所属	職名	氏名	共同研究名	研究内容	年度
リール第一大学	CMS Researcher	Vincent Castric博士ら	シロイヌナズナ属における自家不和合性遺伝子座の研究	モデル植物シロイヌナズナおよび近縁種のゲノム解析を通して, 自家不和合性遺伝子座の進化過程を解明する	30
チューリッヒ大学	教授	Kentaro Shimizu博士ら	シロイヌナズナ属における花形質の進化に関する研究	モデル植物シロイヌナズナおよび近縁種における生殖システムの進化をゲノムワイド関連解析等から解明する	30
マックス・プランク研究所	グループ・リーダー	Angela Hancock 博士ら	シロイヌナズナ属における集団ゲノム学的研究	モデル植物シロイヌナズナの祖先的系統を用いた, 種の起源と進化に関する研究	30

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

- ・ 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 科学技術予測センター 専門調査員
- ・ 日本進化学会 広報担当
- ・ 日本進化学会 代議員

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)

なし

(10) その他

なし